

2021年12月24日
株式会社紀伊國屋書店

「紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表

株式会社紀伊國屋書店（代表取締役会長兼社長 高井 昌史）はこのたび、「紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表いたします。

「読者の皆さまと共に優れた人文書を紹介し、魅力ある『書店空間』を作っていきたい」——との思いから立ち上げた「紀伊國屋じんぶん大賞」は、今年で12回目を迎えました。

おかげさまで、本年もたくさんのご応募と推薦コメントをお寄せいただきました。一般読者の方々からいただいたアンケートを元に、出版社、紀伊國屋書店社員による推薦を加味して事務局にて集計し、ベスト30を選定いたしました。

※2020年12月～2021年11月に刊行された人文書を対象とし、2021年11月1日～11月30日の期間に読者の皆さまからアンケートを募りました。当企画における「人文書」とは、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論」のジャンルに該当する書籍（文庫・新書も可）としております。

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30

1位	東京の生活史	岸政彦	筑摩書房
2位	愛と差別と友情とLGBTQ+ 言葉で闘うアメリカの記録と内在する私たちの正体	北丸雄二	人々舎
3位	言語学バーリ・トゥード Round 1 AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか	川添愛	東京大学出版会
4位	誰がために医師はいる クスリとヒトの現代論	松本俊彦	みすず書房
5位	責任の生成 中動態と当事者研究	國分功一郎／熊谷晋一郎	新曜社
6位	実力も運のうち能力主義は正義か？	マイケル・サンデル／鬼澤忍	早川書房
7位	アメリカンビレッジの夜 基地の町・沖縄に生きる女たち	アケミ・ジョンソン／真田由美子	紀伊國屋書店
8位	中国料理の世界史 美食のナショナリズムをこえて	岩間一弘	慶應義塾大学出版会
9位	くらしのアナキズム	松村圭一郎	ミシマ社
10位	ケアの倫理とエンパワメント	小川公代	講談社
11位	精神分析の歩き方	山崎孝明	金剛出版

12位	「論理的思考」の社会的構築 フランスの思考表現スタイルと言葉の教育	渡邊雅子	岩波書店
13位	書き取りシステム 1800・1900	フリードリヒ・キットラー／大宮勘一郎	インスクリプト
14位	働くことの人類学【活字版】 仕事と自由をめぐる8つの対話	松村圭一郎／コクヨ野外学習センター	黒鳥社
15位	ヒッピーのはじまり	ヘレン・スウィック・ペリー／阿部大樹	作品社
16位	心はどこへ消えた？	東畑開人	文藝春秋
17位	犬神家の戸籍 「血」と「家」の近代日本	遠藤正敬	青土社
18位	僕たちはどう生きるか 言葉と思考のエコロジカルな転回	森田真生	集英社
19位	私はいま自由なの？ 男女平等世界一の国ノルウェーが直面した現実	リン・スタルスベルグ／枇谷玲子	柏書房
20位	プロテストってなに？ 世界を変えたさまざまな社会運動	エミリー・ハワース=ブース／アリス・ハワース=ブース	青幻舎インターナショナル
21位	言葉をもみほぐす	赤坂憲雄／藤原辰史	岩波書店
22位-1	小泉義之政治論集成 I 災厄と性愛	小泉義之	月曜社
22位-2	小泉義之政治論集成 II 闘争と統治	小泉義之	月曜社
23位	親鸞とマルクス主義 闘争・イデオロギー・普遍性	近藤俊太郎	法蔵館
24位	囚われのいじめ問題 未完の天津市中学生自殺事件	北澤毅／間山広朗	岩波書店
25位	海賊共和国史 1696-1721年	コリン・ウッドワード／大野晶子	パンローリング
26位	平成史 ― 昨日の世界のすべて	與那覇潤	文藝春秋
27位	社会科学の哲学入門	吉田敬	勁草書房
28位	マザリング 現代の母なる場所	中村佑子	集英社
29位	水中の哲学者たち	永井玲衣	晶文社
30位	みんな政治でバカになる	綿野恵太	晶文社

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2022 フェアは、2022年2月1日（火）より開催予定です。選考委員および読者からの推薦コメントを掲載した小冊子を店頭にて配布いたします。詳細は各店舗にお問い合わせください。